

# 1. 授業時間

令和2年度の授業時間については、前学期は新型コロナウイルス感染症の影響により授業開始日が繰り下がったことから、授業時間が90分から100分に変更となります。それに伴い、授業時間は以下のとおりとなりますので、ご注意ください。なお、後学期については従前通りの授業時間で実施する予定です。

前学期の授業時間（新型コロナウイルス感染症の影響により100分授業に変更）

【水戸地区・日立地区（昼間コース）・阿見地区】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第1講時	8:40 ～ 10:20
第2講時	10:30 ～ 12:10
（昼休み / 12:10 ～ 13:00）	
第3講時	13:00 ～ 14:40
第4講時	14:50 ～ 16:30
第5講時	16:40 ～ 18:20

【日立地区（フレックスコース）】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第6講時	17:15 ～ 18:55
第7講時	19:00 ～ 20:40

後学期の授業時間(従前通り)

【水戸地区・日立地区（昼間コース）・阿見地区】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第1講時	8:40 ～ 10:10
第2講時	10:20 ～ 11:50
（昼休み / 11:50 ～ 12:40）	
第3講時	12:40 ～ 14:10
第4講時	14:20 ～ 15:50
第5講時	16:00 ～ 17:30

【日立地区（フレックスコース）】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第6講時	17:35 ～ 19:05
第7講時	19:10 ～ 20:40

# 2. 授業科目の履修について

授業科目を履修する場合は、「基盤教育科目履修申告票／全学共通科目履修申告票」に必要事項を記入し、当該授業の始めに担当教員へ提出し、受講の承認を得てください。上記申告票提出後、定められた期間内に教務情報ポータルシステムで履修登録してください。どちらか一方が行われていない場合や両者が一致していない場合は、正式な履修とは認められません。

# 3. 注意事項

開講授業科目一覧には、共通教育科目の今年度開講される授業科目（授業題目）が掲載されており、さらに履修の申告や登録に必要な情報（シラバスコード等）も記載されています。開講授業科目一覧で開講時期（前学期・後学期・クォーター）、曜日・講時、指定学部クラス等を確認し、シラバス（Web）で授業内容を確認の上、授業を選択してください。

1. 入学年度(年次)により**授業科目名**が異なることがあります。履修登録の際には気をつけてください。
2. 同一教員が同じ授業題目で、別の学期・クォーターや異なる時間帯に授業を開講していることがあります。自分の所属する学部が履修対象になっているか指定学部クラス等に注意してください。
3. **所属**の欄は、その授業科目の担当教員の所属学部等名が下記のとおり略して示されています。

・人文→人文社会科学部	・教育→教育学部	・理→理学部	・工→工学部	・農→農学部
・機構→全学教育機構	・保セ→保健管理センター	・IT→IT基盤センター		
・広セ→広域水圏環境科学教育研究センター	・宇セ→宇宙科学教育研究センター			
・社セ→社会連携センター	・ICAS→地球変動適応科学研究機関	・遺→遺伝子実験施設		
・非→非常勤講師	・他→上記以外の所属学部等又は複数の所属学部等が合同する場合			

4. **学期クォーター**の欄には、開講学期・クォーターが記載されています。略称等は下記のとおりです。

・通年 →通年開講科目	・前期 →前学期開講科目	・後期 →後学期開講科目
・1Q →第1クォーター開講科目	・2Q →第2クォーター開講科目	・3Q →第3クォーター開講科目
・4Q →第4クォーター開講科目	・各Q →年間を通して各クォーターで開講される科目	

5. **指定学部クラス等**の欄には、当該授業の履修対象学部・学科等が示されています。原則としてここに指定されている所属学部・学科等の学生以外は履修できません。略称等は下記のとおりです。

1. L⇒人文社会科学部、P⇒教育学部、S⇒理学部、T⇒工学部、A⇒農学部
2. 1年⇒1～4年次、2年⇒2～4年次、3年⇒3～4年次
以下、主だった例をあげます。
① 1年TA⇒ 1～4年次の工学部と農学部の学生
② 1年全学共通⇒ 1～4年次の全学部の学生
③ 2年LPS⇒ 2～4年次の人文社会科学部と教育学部と理学部の学生
④ 2年全学共通⇒ 2～4年次の全学部の学生
⑤ 3年PS⇒ 3～4年次の教育学部と理学部の学生
⑥ 3年全学共通⇒ 3～4年次の全学部の学生
⑦ 1年T(フレ)⇒ 1～3年次の工学部フレックスコースと4年次の工学部Bコースの学生
⑧ 3年T(フレ)⇒ 3年次の工学部フレックスコースと4年次の工学部Bコース学生
⑨ 1年T(機械)⇒ 1～3年次の工学部機械システム工学科の学生と4年次の工学部機械工学科及び知能システム工学科の学生
⑩ 1年T(電気)⇒ 1～3年次の工学部電気電子システム工学科の学生と4年次の電気電子工学科及びメディア通信工学科の学生
⑪ 1年T(物質)⇒ 1～3年次の工学部物質科学工学科の学生と4年次の生体分子機能工学科及びマテリアル工学科の学生

6. **教室**の欄には、授業を行う教室名(下記略号)又は開講地区(水戸地区/日立地区/阿見地区)が記されています。

<b>【水戸地区】</b>
・共通○○・・・・・・・・・・共通教育棟2号館教室
・○○講義室・・・・・・・・・・共通教育棟1号館2階又は3階教室
・人文○○・・・・・・・・・・人文社会科学部棟教室・演習室
・教育○○○○・・・・・・・・・・教育学部棟教室(A～D棟)
・理○○・・・・・・・・・・理学部棟教室・セミナー室
・MM1/2・・・・・・・・・・理学部S棟マルチメディア第1教室/第2教室
・理学部英語学習室・・・・・・・・理学部B棟1階英語学習室
<b>【日立地区】</b>
・工学部○○・・・・・・・・・・日立キャンパスの教室等
<b>【阿見地区】</b>
・農学部○○・・・・・・・・・・阿見キャンパスの教室等

7. **ナンバリングコード**は、体系的な教育課程の編成のため、教育課程における当該授業の位置づけ等を示すもので、次の項目についてアルファベットや数字で表示します。ナンバリングコードは、シラバスにも記載されています。

各コードについて、授業科目「茨城学」を例に説明します。授業選択の際の参考にしてください。

(例)「茨城学」のナンバリングコード

ナンバリングコード	KB - IBS - 131 - COE, COP
説明 No.	① - ② - ③④⑤ - ⑥

### 各コードの説明

No.	コード名	説明
①	部局コード	当該授業を実施する部局を示すコードです。基盤教育科目にはすべて「KB」（全学教育機構）が付されています。学部専門科目には、それぞれ、「L」（人文社会科学部）、「P」（教育学部）、「S」（理学部）、「T」（工学部）、「A」（農学部）が付されています。全学共通プログラム科目にはすべて「KZ」（全学共通科目）が付されています。「茨城学」の部局コードは「KB」なので、この授業は「全学教育機構」が実施する授業であることがわかります。「KB」、「KZ」が付された授業に関する質問は、共通教育センターにお問い合わせください。
②	学問分野コード	当該授業の学問分野（科目区分）を示すコードです。学問分野コードの一覧は巻末（付録）を参照してください。興味のある学問分野があれば、教務情報ポータルシステムでキーワード検索してみるとよいでしょう。「茨城学」の学問分野コードは「IBS」（Ibaraki Studies）です。
③	難易度コード	各学問分野における当該授業の難易度を示すコードです。1～4の数字によって難易度を示します。 1=初歩、2=基礎、3=発展、4=応用 「茨城学」の難易度コードは「1」なので、この授業の難易度は「初歩」であることがわかります。
④	授業方法コード	当該授業の実施方法を示すコードです。1～3の数字によって、授業の実施方法を示します。「2」又は「3」が付いている授業はアクティブ・ラーニング科目です。 1=下記以外の講義 2=実験・実習・実技 3=実験・実習・実技以外のアクティブ・ラーニングを取り入れた授業 「茨城学」の授業方法コードは「3」なので、この授業は「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業」であることがわかります。「アクティブ・ラーニング」の具体的な内容は、各授業のシラバスを参照してください。
⑤	使用言語コード	当該授業の授業担当教員が授業を進める上で通常使用する言語を示すコードです。1～5の数字によって、授業中に通常使用する言語を示します。 1=日本語 2=英語のみ 3=日本語と英語の併用 4=英語以外の外国語のみ 5=その他（例えば、ドイツ語と日本語の併用など） 「茨城学」の使用言語コードは「1」なので、この授業は「日本語」で進行されるのがわかります。
⑥	教育プログラムコード	当該授業を構成科目とする教育プログラムを示すコードです。教育プログラムコードの一覧は巻末（付録）を参照してください。「茨城学」の教育プログラムコードは「COE, COP」なので、この授業は「地域志向教育プログラム」及び「地域協創人材教育プログラム」の構成科目であることがわかります。

## 8. その他履修上の注意

- 1) 基盤教育科目において、一度単位を修得した同じ教員による同じ題目の授業を再度履修しても、単位は認められません。ただし、同じ教員による同じ授業科目であっても、授業題目が異なれば別の授業として単位が認められます。
- 2) 全学共通科目において、一度単位を修得した同じ授業科目を再度履修しても、単位は認められません。
- 3) リベラルアーツ科目において開講される集中講義で修得した単位は、自由履修の単位に算入されません。ただし、「ライフデザイン」、教育学部生を対象とした「日本国憲法」の集中講義は除きます。自由履修の単位に算入されたものは、各科目区分の卒業に必要な単位には算入されないの注意してください。
- 4) 病気その他の理由により授業の履修が困難な場合は、履修方法等について共通教育センターにご相談ください。
- 5) 授業の出席数が、その授業科目の総授業時間数の3分の2（「心と体の健康」のうち「身体活動」については4分の3）に達しない場合は、単位を与られませんので注意してください。なお、公欠の制度はありません（裁判員制度に係わる欠席は除きます）。

### ※裁判員制度に係わる欠席について

本学では裁判員の責務のために授業を休む場合は欠席扱いにしないこととしています。裁判員としてその用務を果たすためにやむを得ず授業を欠席する場合は、授業担当教員に裁判所の発行する証明書等を提示することによって授業を出席したものと取り扱われます。

## 4. 基盤教育科目クラス分け・ガイダンスについて

### ○プラクティカル・イングリッシュ

以下の日程に、教務情報ポータルシステムでクラス分けの発表を行います。

1年次生向け「Integrated English」 4月27日（月）

2年次生向け「Advanced English」 4月24日（金）

3年次生向け「Advanced English」 4月24日（金）

1) クラス分け発表後、初回授業に出席し、「基盤教育科目／全学共通科目履修申告票」を担当教員に提出してください。なお、クラス分けの結果は教務情報ポータルシステムに自動で登録されますので、学生自身が履修登録する必要はありません。

2) 後学期に履修するクラスは、原則前学期と同一教員のクラスを履修することになりますが、担当教員が異なる場合は、教務情報ポータルシステム及び掲示で後学期開始前に後学期に履修するクラスをお知らせしますので、掲示等に注意してください。なお、後学期のクラスについても、前学期同様に教務情報ポータルシステムに自動で登録されます。

3) 水戸地区開講のAdvanced English IIICは、対象となる学生（再履修者含む）に対し、希望調査を実施し、クラス分けを行います（日立地区、阿見地区開講科目の希望調査は実施しません）。希望調査の実施時期等詳細については、1月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。

4) 再履修者向けには、レベルごとに集中講義で再履修用の授業が開講されます（p.17参照）。プラクティカル・イングリッシュの再履修は、集中講義あるいは翌年度の授業の再履修になりますが、1年次前学期開講のIntegrated English Aのみ集中講義の他に後学期に再履修のクラスが開講されます（p.18参照）。再履修が必要な学生は、再履修用のクラスを確認し、該当するレベルの初回授業に出席してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。なお、再履修クラスの履修登録は自動ではされませんので、自身で履修登録してください。

5) 集中講義の再履修は、前学期は7月下旬、後学期は1月下旬に日程を掲示でお知らせする予定です。当該学期の成績を確認し、単位を修得できなかった場合、再履修が必要となりますので、修得できなかったレベルの集中講義を履修してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。

6) 翌年度の再履修クラスを履修する場合、令和元年度に単位が認定されなかった科目を履修することになりますが、水戸地区では、令和2年度は以下の教員が担当する授業（該当のレベル）を履修してください。日立地区、阿見地区開講の授業については、クラスの指定はありませんので、開講されている授業の中から、自身で選択してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。

#### 令和2年度再履修対象者用クラス

科目	担当教員
Integrated English IA、IB	福田 浩子
Integrated English IIA、IIB	大山 廉
Integrated English IIIA、IIIB	大森 真
Advanced English IA、IB	小林 邦彦
Advanced English IIA、IIB	上田 敦子
Advanced English IIIA、IIIB	館 深雪
Advanced English IIIC	指定なし。任意のクラスを自身で選択

時間割、教室等授業の詳細は、開講授業科目一覧（p.11～）を参照してください。

## ○心と体の健康

令和2年度は、「身体活動」については履修科目の決定を教務情報ポータルシステムで以下の期間に希望調査を行い、決定します。ガイダンスについては、以下の日程で実施しますが、後学期開講科目も含めて1回目の授業となりますので、1年次及び2年次以上で「心と体の健康」（身体活動および健康の科学）の履修を希望する学生は、各地区で指定された日時に開催のガイダンスに必ず出席してください。

- 1) ガイダンスは、前学期・後学期を問わず初回授業となりますので、必ず出席してください。
- 2) ガイダンス出席にあたっては、「基盤教育科目／全学共通科目履修申告票」、学生証、筆記具、上履き、上履き入れを必ず持参してください。日立地区、阿見地区は教室で行いますので、上履きは不要です。
- 3) 「心と体の健康」のうち「身体活動」は、希望調査で決定した科目が教務情報ポータルシステムに自動で登録されますので、学生自身が履修登録する必要はありません。なお、「健康の科学」については、履修申告票は、ガイダンスで提出となりますが、履修登録は自身で行ってください。

### 履修希望調査実施期間(水戸地区・日立地区)

令和2年4月13日(月)～17日(金)

教務情報ポータルシステムの一般アンケートから回答してください。

履修希望調査期間終了後、令和2年4月27日(月)教務情報ポータルシステムでクラス分けの結果を発表します。

※阿見地区については、本履修希望調査の対象ではありませんので、4月下旬に実施するガイダンスでの案内に従ってください。

### 1年次対象ガイダンス日程

#### 【水戸地区】

場所：大体育館

<u>5月 1日(金)</u>	8:40～	工学部(物質科学、情報、都市)
	<u>10:30～</u>	工学部(機械システム(フレックスコース除く)、電気電子システム)
<u>5月11日(月)</u>	<u>13:00～</u>	教育学部
<u>5月13日(水)</u>	8:40～	理学部、農学部
	<u>10:30～</u>	人文社会科学部

### 2年次対象ガイダンス日程

#### 【水戸地区】

場所：大体育館

<u>5月 1日(金)</u>	<u>13:00～</u>	教育学部(Ⅱ)、理学部
<u>5月11日(月)</u>	<u>10:30～</u>	人文社会科学部
	<u>14:50～</u>	教育学部(Ⅰ)

※教育学部(Ⅰ)：学校教育教員養成課程(理数教育系・保健体育教育系)以外の2年次生

※教育学部(Ⅱ)：学校教育教員養成課程(理数教育系・保健体育教育系)の2年次生

#### 【日立地区】

場所：E1棟10番教室

<u>4月30日(木)</u>	<u>16:40～</u>	工学部(フレックスコースを除く全学科)
-----------------	---------------	---------------------

#### 【阿見地区】

場所：100番教室

<u>4月30日(木)</u>	<u>14:50～</u>	農学部
-----------------	---------------	-----

※再履修者で「心と体の健康」を履修する場合は、以下の点に注意してください。

- ・2年次が1年次の授業を再履修する場合は、所属学部学科対象の1年次向け履修希望調査に回答し、1年次向けガイダンスに出席してください。
- ・3年次が再履修する場合は、対象にかかわらず、1年次向け、2年次向け、いずれかの履修希望調査に回答し、ガイダンスに出席してください(所属・学年等の指定はありません)。



## ○科学の基礎

科学の基礎のうち、「科学と倫理」はクラス指定されているものがあります。工学部対象の「科学と倫理B」、農学部対象の「科学と倫理A」は、開講授業科目一覧で指定されている学科を参照し履修してください。理学部対象の「科学と倫理A」はクラス指定がありませんので、いずれかのクォーターで履修してください。ただし、各クォーターにおいて定員を超えた場合は、抽選を行います。その場合、地球環境科学コース地球科学技術者養成プログラム（JABEEプログラム）を履修する学生の履修が優先されます。

## ○リベラルアーツ科目

水戸地区開講科目及び日立地区開講科目（フレックスコース対象科目は除く）のリベラルアーツ科目については、初回授業時における混乱、またそれに伴う授業開始の遅延を避けるため、受講希望の授業をWebで事前に申告してもらい、学期開始前に抽選を行い、履修者を予め決定します。実施期間等は、以下の日程を予定しておりますが、正式な実施日程や実施方法の詳細については、教務情報ポータルシステムでお知らせします。フレックスコース対象科目の基盤教育科目については、事前申告の実施はありません。なお、阿見地区については、下記のとおり事前申告を実施します。

### 【事前申告の実施方法】

【水戸地区開講分】教務情報ポータルシステムで実施します。

【日立地区開講分】工学部学務グループから別途実施方法を連絡します。

### 【水戸地区開講科目】

実施方法：教務情報ポータルシステムで実施します。

前学期開講科目（2年次以上対象）

3月上旬（期間は1週間）実施、3月下旬結果発表

詳細については、1月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。なお、上記の期間は翌年度前学期開講科目の事前申告の予定になります。

対象科目：異文化コミュニケーション、ヒューマニティーズ、パフォーマンス&アート、自然・環境と人間、グローバル化と人間社会

後学期開講科目（1年次以上対象）

第1次申告：8月上旬（期間は1週間）実施、8月下旬結果発表

第2次申告：9月上旬（期間は1週間）実施、9月下旬結果発表

詳細については、7月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。

- ・対象科目：初修外国語（Ⅱ・入門）、異文化コミュニケーション、ヒューマニティーズ、パフォーマンス&アート、自然・環境と人間、グローバル化と人間社会

### 【日立地区開講科目】

- ・前学期及び後学期開講科目（2年次以上対象）
- ・実施方法：工学部学務グループから別途実施方法を連絡します。
- ・対象科目：昼間コース向けに開講される異文化コミュニケーション（初修外国語は除く）、ヒューマニティーズ、パフォーマンス&アート、自然・環境と人間、グローバル化と人間社会
- ・申告期間及び結果については、別途工学部学務グループから連絡します。

### 【水戸地区及び日立地区共通の注意事項】

1) 上記の実施期間は予定です。変更になる可能性もあるので、教務情報ポータルシステムでのおしらせに注意してください。

2) 事前申告で受講可となった科目は、教務情報ポータルシステムに自動で登録されますので、学生自身で履修登録する必要はありません。

### 【阿見地区開講科目】

前学期及び後学期開講科目（2年次以上対象。身体活動含む）

4月下旬のガイダンスにて詳細を説明します。